

亜細亜大学国際オープンテニス2019



3月12日(火)本戦1日目



亜細亜大学
ASIA UNIVERSITY

ハイライト

昨日より亜細亜大学国際オープン2019女子大会が開幕された。本日は、女子シングルス予選決勝と本戦1回戦、ダブルス本戦1回戦が行われた。

予選では、WCを手にした小林ほの香選手(荏原湘南スポーツセンター)がキャサリン・ハリソン選手(アメリカ)に4-6.6-1.7-10のスコアで惜しくも敗退。本戦へ駒を進めることが出来なかった。他の日本人選手も接戦の末、破れてしまった。

シングルス本戦1回戦では、小堀桃子選手(橋本総業ホールディングス)が全日本選手権優勝経験のある今西美晴選手(島津製作所)に7-5.6-2で制した。今西選手の攻撃的なプレーに苦戦するも、小堀選手は序盤から緩急を使った安定感のあるプレーで今西選手を封じた。小堀選手は本戦2回戦で15歳の若手の注目選手であるダリア・ロパテスカ選手(ウクライナ)との対戦となる。高身長から繰り出されるサーブと攻撃的なストロークが持ち味のダリア選手にどう戦うのか見所だ。

ダブルス本戦1回戦では、亜細亜大学本戦WCで出場した南文乃選手/朝倉菜月選手(亜細亜大学)が、本大会第2シードのスー・イーチェン選手/リー・ソラ選手(台湾/韓国)に2-6.6-4.10-6の大逆転劇で勝利を決めた。南/朝倉ペアは、ファーストセットをスー/リーペアに圧倒されつつも、セカンドセットは隙のないプレーにより相手の流れを止め、10ポイントタイブレークへ。南/朝倉ペアは、6-3とリードを広げるも6-6とポイントを詰められる展開。その後、緊迫した状況の中で南/朝倉ペアは、息の合ったプレーをし4ポイント連取。大逆転勝利となった。

小林ほの香選手



小堀桃子選手



南文乃選手/朝倉菜月選手



一注目のカード

ジュリア・ガット・モンティコン選手(イタリア)
バレンティーニ・グラマティコポール選手(ギリシャ)

VS

大前綾希子選手(島津製作所)
ガブリエラ・テイラー選手(イギリス)

大前選手は先週行われた横浜慶應チャレンジャーでダブルス準優している。今大会もその素晴らしいプレーに注目。

